

我孫子市では年間4回程度の学校運営協議会会議の開催を予定しています。今回は、第3回会議の様子を中心にお伝えします。

※各学校の会議開催予定等については、各学校HP等にてご確認ください。

令和4年度 第3回学校運営協議会会議

第3回会議は、11月から12月にかけて各学校または各中学校区合同で行われました。各学校では、主に2学期の学校の様子について共有し、これまでの学校運営や教育活動の取組の成果や課題、地域学校協働活動として取り組んでいきたいことなどについて、協議が行われました。また、今年度の学校評価に関するアンケート項目についての協議なども行われました。

【我孫子第三小学校 学校運営協議会の様子】

11月19日に第3回の会議が開催されました。

我孫子第三小学校は、今年度から始まったコミュニティ・スクールについて、まずは知ってもらうことをねらいとして地域への情報の発信を重点としています。その方法として、学校から地域へ「挨拶運動」の取組を、6年生の家庭科「共に生きる地域での生活」の学習の一環として計画することにしました。子ども達一人ひとりが家庭や地域と向き合い、今後地域で生きる上で自分自身がどのように地域と関わっていくかを考えるきっかけとなる学習です。



あわせて、我孫子第三小学校では、登下校の児童の安全見守り活動にも力を入れていきます。学校やPTA、地域学校協働活動推進員が連携して、様々な取組を進めてきました。これらの取組をさらに地域に広げ、地域のたくさんの大人の目で子ども達の安全を守りたいと考えています。

子ども達の学びを支えるため、また地域全体で子ども達を守るため、どのようなステップで学校から地域へ発信していくとよいか、どのように地域と連携できそうかなど協議を行いました。各委員がそれぞれの立場から積極的に意見を出し合い、子ども達の思いや考えを大切に、地域会議等でも発信しながら実現に向けて丁寧に準備していこうと方向性を定め、会議を終了しました。

【布佐中学校 学校運営協議会の様子】

11月9日に第3回会議が行われました。

前半は、2学期の学校運営や教育活動の様子について共有し、成果や課題について協議しました。

後半は、生徒会の新旧役員が会議に参加し、地域の活性化について、生徒が考える地域課題や、その解決に向けて、大人と中学生が一緒にどんなことができそうかなどについて積極的に意見を述べていました。生徒たちが地域の当事者として真剣に考え、学校運営協議会は、それを実現するために何ができるか、今後の協議につなげていくこととなりました。



～中学生からの意見～（「令和4年度 布佐中学校 学校運営協議会だより No.2」より一部抜粋）

- ・一人一人顔が分かっているので、挨拶をしっかりして地域とのつながりを深めたい。
- ・自分の親世代とのかかわりを深めるため、駅などで挨拶運動をする。
- ・地域のお祭りに参加する。・お祭りのまかないを手伝う。
- ・学校でお祭りへの参加を呼びかけるだけでなく、親世代も一緒に参加するとよいのではないか。
- ・地域の清掃活動に参加する。
- ・地域の方に、学校の部活動を紹介する機会があるとよい。

学校運営協議会 中学校区での合同開催 小中一貫教育を中心とした取組例

【我孫子中学校区 第2回学校運営協議会の報告】

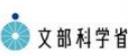
スクラム No.2 で紹介した、我孫子中学校区合同学校運営協議会の広報紙を紹介します。我孫子中学校区の小中一貫教育で目指す15歳の姿、12歳の姿が中心に示され、「挨拶」をキーワードに学校・家庭・地域で取り組んでいきたいことについて伝えています。



Abi中一小中一貫教育
コミュニティ・スクール
だより

特別号:2022-11-30
我孫子中学校区
・我孫子中学校・第二小学校
・第三小学校・高野山小学校
学校運営協議会

コミュニティ・スクール (CS) って知っていますか?
CSとは学校運営協議会を設置した学校のことです。
地域・保護者・学校が一体となって子供たちを育てようという取り組みです。

10月1日(土)に我孫子中学校区の合同運営協議会が開催され、我孫子中區で目指す生徒像(グランドデザイン)をもとにした今後の取り組みについて話し合いました。今回は「挨拶への意識を向上させたい」というテーマにフォーカスして、地域・保護者・学校の立場からできることを具体的に考えました。その一部をご紹介します。

子供だけではなく大人同士でも!

改めて挨拶の大切さを考えてみよう

人それぞれにいろいろな考えがある
自分にとってどんなプラスの意味がある?
・幸せな人になれる
・自分の存在を示す などなど

自分からは恥ずかしくても
「挨拶をされたら挨拶を返す」から始める

★子供の達成感につなげるために★
生徒の考えをどんどん発信してもらおう。

挨拶への意識を向上させたい

目指す15歳の姿

「ふるさと我孫子を愛し、人間性豊かで、主体的に学び、新時代に生きる子供」

「未来に夢と希望を持って学び、人を大切にする人間」

目指す12歳の姿

挨拶をする勇気を持って
気持ちの良い挨拶ができるようになる

生徒・地域の方がお互いに
顔を知る機会をつくる

★顔を覚えてもらうために★
学校に協力してくださっている
ボランティアの方の写真を貼る

地域のイベントに生徒が参加する

子供たちにとって安心で
信用できる大人が増える

★お互いに信頼関係を築くために★
学校外で交流を持った地域の方に
グッズを渡して身に付けてもらう。

理想の実現に向けて少しずつ取り組み始めています。ご家庭でもぜひ挨拶について話してみてください。
また、ご意見・ご提案などありましたらお住いの地域の小学校または我孫子中学校までお気軽にご連絡ください。

【久寺家中学校区 3校合同学校運営協議会の様子】

11月24日に根戸小学校で、並木小、久寺家中学校の3校合同の学校運営協議会が行われました。

前半は学校ごとに集まり、各学校の学校運営の様子や学校評価アンケートの内容、学校が課題としていることなどについて協議を行いました。

後半は3校の学校運営協議会委員が一堂に会して協議を行いました。まずは、各学校のグランドデザインについて共有したあと、久寺家中学校区の小中一貫教育グランドデザインについて確認しました。これらを受けて、全体の進行を務めた根戸小学校学校運営協議会会長は、小中一貫教育の意義を理解した上で、そうした視点をもって学校や子ども達を見つめてほしいと委員へ呼びかけました。続いて、我孫子市共通の小中一貫カリキュラム「Abi☆小中一貫カリキュラム」の内容や、取組について共有しました。また、今年度から学校評価のアンケート項目に小中一貫教育の保護者、教職員の周知・理解促進のため3校共通の小中一貫教育に関する項目を入れることについて共通理解を図りました。

協議の中では、「子ども達が『Abi-ふるさと』で学んでいる我孫子の先人について、保護者も一緒に学べる機会があるとよい。」「『環境・人でつなぐ』という点では、久寺家中学校区の特色として中学校区全体で地域学校協働活動(ボランティア)が行われていることを、グランドデザインで示せるとよい。」といった意見が出ていました。

